

健康増進計画（健康はだの21）第5期 進行管理シート

1 基本情報

基本の方向性	No. II	健康維持向上のための生活習慣の改善と個人の行動変容（疾病予防と健康増進）
	取組分野	No. 1 栄養・食生活
	重点目標	楽しくバランスの良い食生活を送る人を増やす。
	主な取組	「早寝 早起き 朝ごはん」

2 評価指標

項目		朝食を週4日以上食べる人の割合（40～59歳）									
年度		目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値		82.0%	77.8%	78.9%							
項目		主食・主菜・副菜をそろえた食事を毎食している人の割合									
年度		目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値		50.0%	41.5%	40.2%							
項目		野菜を毎食食べる人の割合									
年度		目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値		50.0%	41.0%	41.4%							
項目		肥満者の割合（BMI25.0以上）									
年度		目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	30～60歳代男性	30.0%	32.0%	37.3%							
	40～60歳代女性	17.0%	20.6%	24.7%							

委員会総合評価	理由

3 事業計画と評価等

事業概要（事業名）・実施計画（Plan）		R6年度実績（Do）							自己評価（Check）				課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）	
健康づくり課	ボランティアの養成及び活動支援 【事業概要（事業名）】 地域において、健康に関する知識を普及するボランティアを養成する。 ・食生活改善推進員の養成及び活動支援 【実施計画】 健康づくりが市民から市民に広がるよう、専門性を生かしたボランティアの養成や現任研修を行う。	食に関する知識を学び、地域で普及するボランティアを養成する講座を調理実習ありの7日間コースで開催。 ・受講者数：6名 ・入会者数：2名							評価理由 C 推進できたが努力が必要 壮年期の方の受講もあり、講座初日のアンケートによる参加の動機では、「食のボランティアに興味がある」や「仲間づくりをしたい」と回答した方も多かったが、講座修了後の入会率は低迷したため。	【課題】 青壮年期の受講者や入会者の確保が難しく、また、入会後に地域で長く活動ができるような環境整備が必要。 【計画】 受講前後及び入会前後において活動へのモチベーションが低下しないよう、受講者の理解度を踏まえ、活動の様子が分かるようなカリキュラム構成に留意する。				
	健康教育・健康相談（栄養） 【事業概要（事業名）】 ライフステージに合わせた栄養バランスのとれた食事の実現と適正体重を維持するための取組を実施。 ・幼小中PTA向け健康講座（栄養） ・メタボリックシンドローム予防・改善のための栄養講座 ・病態別（糖尿病、高血圧、脂質異常症）の栄養講座 ・地産地消推進事業 ・市公式YouTubeによる料理動画の配信 【実施計画】 生活習慣病予防に関する知識の習得と望ましい食生活の確立に向け、各種講座等を実施する。	生活習慣病予防・重症化予防のため、青壮年期に適した食行動について学ぶ講座を実施。必要に応じて個別相談を受けることや、他講座との連携を図り、内容の充実を努めた。 ・幼小中PTA向け健康講座：1回66人 ・血管イキイキ生活のすすめ（メタボ編）：4回51人 ・血管イキイキ生活のすすめ（病態別編）：6回53人 ・はだの野菜ヘルシー料理講座：5回62人								評価理由 A 目標を達成した 一般市民及び特定健康診査受診者が、自身の健康課題に合った講座に参加することにより、意識・動機付けや受講後の取組意欲を高めることができた。 また、働き世代や子育て世代等の講座への参加が難しい方への食支援として、市公式クックパッドを開設し、家庭における望ましい食生活を確立できるよう体制を整えることができたため。	【課題】 青壮年期の参加者数が少なく、直接的な食支援が難しい。 【計画】 座学や測定、試食、調理実習等、様々な視点から生活習慣病を捉えてもらうことで、講座に参加することへのハードルを下げ、男女や年代問わず多くの方に参加してもらえるような実施体制を整える。			
こども家庭支援課	親子向け食育の推進 【事業概要（事業名）】 妊産婦、乳幼児及びその家族に対して、望ましい食生活の普及啓発を実施。 ・おめでた家族教室 ・離乳食セミナー、幼児食と歯のセミナー ・乳幼児健康診査 【実施計画】 ・妊産婦の食事について動画を作成し、配信する。 ・おめでた家族教室では、妊産婦の食生活指針の周知を図り、妊娠期からの食事の大切さについて普及啓発する。 ・食育セミナーを開催し、成長に合わせた進め方を伝え、子どもの食べる意欲につながる支援を実施する。	・市公式YouTubeを活用した動画の配信などで望ましい食事について伝えた。動画再生回数：6019回 ・妊娠期や乳児期の親子を対象としたセミナーを実施した。 おめでた家族教室1回目：9回 64人 離乳食セミナースタート編：18回 240人 離乳食セミナーステップアップ編：5回 93人 幼児食と歯のセミナー：8回 79人							評価理由 B おおむね推進できた おめでた家族教室では、妊産婦の食生活指針の周知を図り、妊娠期からの食事の大切さについて普及啓発できた。 ・食育セミナーに参加出来ない者に望ましい食事を伝えるために、市公式YouTubeを活用した動画の配信を行った。 ・食育セミナー参加者に「食育を実践できそうか」アンケートを取ったが、目標値に達成していないため、B評価とした。		・妊娠期の望ましい体重増加について知っている者が少ないため、おめでた家族教室や、妊娠届時の面接にてパンフレット配布により、適正な体重増加量や栄養バランスのよい食事について普及啓発に努める。 ・離乳食開始から幼児食まで切れ目のない支援が必要であるため、離乳食セミナーステップアップ編の回数を増加する。 ・子どもの食と育児不安の解消を図り、家庭で楽しく食育ができるよう支援していく。 ・朝食をはじめとした生活習慣づくりの重要性を引き続き伝えていく。			
	指標 「食育を実践できそう」の割合 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 実績値 97.3%													

健康増進計画（健康はだの21）第5期 進行管理シート

資料3

1 基本情報

基本の方向性	No. I	健康を支援する環境整備
	取組分野	No. 1 社会的つながり
	重点目標	人とつながりながら、地域で健康に過ごすことができるよう、多機関での連携を図る。
	行動目標	「地域の仲間と健康づくり」 「声掛け あいさつから始まる 楽しい地域づくり」

2 評価指標

項目	自分が健康だと思う人の割合									
	年度	目標値 (R12)	策定時 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
数値	83.0%	79.6%	84.0%							
項目	地域活動参加の割合									
	年度	目標値 (R12)	策定時 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
数値	68.0%	64.7%	59.8%							

《各課取組の指標に対する評価の目安》

- A 目標を達成した（目安：目標値の達成度90%以上）
- B おおむね推進できた（目安：目標値の達成度70%以上）
- C 推進できたが努力が必要（目安：目標値の達成度50%以上）
- D 事業の見直しが必要

委員会総合評価	理由

3 事業計画と評価等

事業概要（事業名）・実施計画（Plan）		R6年度実績（Do）							自己評価（Check）		課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）
健康づくり課	健康教育・健康相談 【事業概要（事業名）】 疾病発症前から健康づくりの関心を高めるため、食事・運動・こころ等のテーマに応じた講座を実施するとともに、継続して取組みやすい環境を整備する。 ・未病センターはだの健康相談会 ・幼小中保護者向け出張講座 ・若い世代への健康情報の発信 ・東海大学体育学部との協働による運動講座 【実施計画】 電子申請等の体制整備を行い、誰もがより健康づくりに取り組めるよう、情報発信や相談体制を充実させる。	公設3か所の未病センターと協働で健康測定会や講座を開催。定員を大幅に超えた中野健康センターでの測定会では、従事者を増員して受入れ人数を増やして対応した。 未病センターの健康相談会およびセミナー：10回 219人 指標 「未病」に関する講座の参加者数（人） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 240 240 240 240 240 240 240 実績値 219							評価理由	B おおむね推進できた	【課題】 講座出席者の多くが高齢者であり、青壮年期への健康支援が少ない状況にある。疾病予防につなげるためにも、青壮年期の参加を増やす工夫が必要である。 【計画】 健康測定会や運動講座は、参加者の年齢制限を設けて、世代の体力にあった講座内容を実施することで、青壮年期の参加につなげ、生活習慣病等の発症予防につなげる。
	地域における体操の普及 【事業概要（事業名）】 地域で人とつながりながら健康づくりを継続できるよう、「さわやかマスター」と協働し、体操会や出張講座を実施。 ・丹沢あおぞら体操会、ご近所体操 ・さわやか体操出張講習会 【実施計画】 体操会が継続できるよう支援を行い、イベント等の体操披露時にさわやか体操や出張講座をPRする。	体操会の開催や市民が自主的に開催している体操会への支援を実施した。地域で自主的に開催していたしぶさわご近所体操会は高齢化により運営が困難な状況だったことから、さわやかマスターによる体操会へ令和6年度から移行した。 ・丹沢あおぞら体操会：12回173人 ・ラジオ体操会：24回313人 ・しぶさわご近所体操：12回164人 ・ご近所体操（つくだ公園）：10回96人 指標 体操会への参加者数（人） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 700 700 700 700 700 700 700 実績値 746							評価理由	A 目標を達成した	【課題】 参加者や担い手の高齢化や青壮年期の参加が難しい。 【計画】 しぶさわご近所体操は、親しみやすいように名称を「にしモーニング体操会」に変更し、身近な健康づくりの場を維持していく。
	ボランティアの養成及び活動支援 【事業概要（事業名）】 地域において、健康に関する知識を普及するボランティアを養成する。 ・健康推進員の養成及び活動支援 ・食生活改善推進員の養成及び活動支援 ・さわやかマスター（体操普及員）の養成及び活動支援 ・ゲートキーパー養成講座 ・熱中症対策アンバサダー養成講座 【実施計画】 健康づくりが市民から市民に広がるよう、専門性を生かしたボランティアの養成や現任研修を行う。	個人の健康づくりから、家族や地域住民の健康づくりの支援につながるよう、栄養・運動・こころ等の健康に関する知識の普及や活動を実践するボランティアを養成した。 ・健康推進員任意登録者：27名 ・食生活改善推進員養成講座：受講者6名、入会者2名 ・さわやかマスター登録者：55名 ・ゲートキーパー養成累計人数：303名 ・熱中症対策アンバサダー養成講座受講者：32名 指標 健康推進員の活動回数（回） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 10 10 10 10 10 10 10 実績値 6							評価理由	C 推進できたが努力が必要	【課題】 現在の活動内容は、行政主導の事業への協力・連携にとどまっており、自主的な活動の場を確保していく必要がある。 【計画】 引き続き活動を支援するとともに、健康推進員養成講座を実施する。現任研修会では、今後の活動について、健康推進員とともに検討していく。

事業概要（事業名）・今年度実施計画（Plan）		R6年度実績（Do）							自己評価（Check）		課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）																														
こども政策課	子どもの居場所づくりへの支援 【事業概要（事業名）】 こども食堂や学習支援、遊び、見守りなど、市民が主体的に取り組むこどもの居場所づくりが活発化し、地域に広がるよう支援する。 【実施計画】 こどもの居場所を運営する市民団体に対し運営費の一部を補助するとともに、多様な居場所が地域に広がるよう、市民団体等との連携を図り、普及啓発に取り組む。	【こどもの居場所運営補助金】 ・令和6年度交付実績 4団体、177,000円（1団体当たり上限50,000円、補助率1/2） 【市民団体等との意見交換会の実施】 ・令和6年度開催実績 4回							評価	A 目標を達成した	【課題】 市民による居場所づくりの取組が維持・継続されるよう、活動の担い手の発掘や育成が必要となる。 【次年度実施計画】 市民団体等との意見交換会を開催し、ネットワークを形成することで、多様な居場所が地域に広がるよう、取組を促進する。																														
	理由	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">市民団体等との意見交換会の開催数（回）</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							市民団体等との意見交換会の開催数（回）								年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	2	2	2	2	2	3	2	実績値	4							安定して継続的な居場所運営ができるよう、補助を必要とする市民団体に対し運営費の一部を補助するとともに、市民団体等との意見交換会を開催し、取組の活発化に向けた連携を図ることができた。
市民団体等との意見交換会の開催数（回）																																									
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																																		
目標値	2	2	2	2	2	3	2																																		
実績値	4																																								
高齢介護課	高齢者向けボランティアの養成及び活動支援 【事業概要（事業名）】 地域で介護予防に役立つ活動を広めるボランティア及び認知症の方やその家族を支援するボランティアを養成する。 ・介護予防サポーターの養成及び活動支援 ・認知症サポーター養成講座 【実施計画】 介護予防やフレイル予防、認知症支援の理解が深まり、市民から市民に広がるよう、ボランティアの養成や現任研修を行う。	・介護予防サポーターの活動支援 6回 119人 ・認知症サポーター養成講座：地域で市民を対象にした講義を開催する他、公共交通、民間企業、教育機関等へ働きかけて講座を開催した。 回数 47回 養成数 764人（延べ人数16,787人）							評価	A 目標を達成した	運動を中心に、栄養・口腔・認知症予防を含むフレイル予防を広く周知するため、養成講座や活動支援を継続実施する。 引き続き、地域高齢者支援センターと連携を図り、各地域住民が集まる公共施設や商業施設において、認知症に関する正しい知識やフレイル予防普及啓発活動を推進する。																														
	理由	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">介護予防サポーターの登録者数（人）</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>60</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>90</td> <td>95</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>66</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							介護予防サポーターの登録者数（人）								年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	60	75	80	85	90	95	100	実績値	66							フレイル予防の普及啓発のため、介護予防サポーターとして「いきいきはだのサポーター」の活動支援を行った。 また、地域高齢者支援センターと連携して、認知症サポーター養成講座を開催した。
介護予防サポーターの登録者数（人）																																									
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																																		
目標値	60	75	80	85	90	95	100																																		
実績値	66																																								
高齢介護課	高齢者向けボランティアとの協働 【事業概要（事業名）】 地域とのつながりを持ち、生きがいづくりや仲間づくりができるよう、高齢者の就労や地域活動を支援する。 ・認知症カフェへの支援 ・認定ヘルパー養成研修 ・認定ドライバー養成研修 ・さわやか体操でフレイル予防（うぐいす体操会含む） ・いきいきライフ交流会 【実施計画】 地域住民が主体的に活動ができるよう支援する。	・認知症カフェ：カフェ数 17か所 ・認定ヘルパー養成研修 1回15人 ・認定ドライバー養成研修 2回34人 ・さわやか体操でフレイル予防（うぐいす体操会含む）32団体 ・いきいきライフ交流会							評価	A 目標を達成した	研修修了者及び介護人材や送迎員を募集している事業者への情報提供を引き続き行い、高齢者を含めて幅広い人材が地域で活躍できるよう支援する。																														
	理由	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">認定ヘルパー及び認定ドライバーの受講者数（人）</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>49</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							認定ヘルパー及び認定ドライバーの受講者数（人）								年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	40	45	50	55	60	65	70	実績値	49							地域住民が主体的に活動ができるよう各種養成研修を実施し、研修修了者や介護事業所等に対し、地域の活動や就労についての情報提供を行った。
認定ヘルパー及び認定ドライバーの受講者数（人）																																									
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																																		
目標値	40	45	50	55	60	65	70																																		
実績値	49																																								
生涯学習課	地域に根差した生涯学習の充実 【事業概要（事業名）】 市民の教養の向上、健康の保持増進及び社会参加を図るため、各公民館における自主事業を実施。 ・スマートフォン体験講座 ・各公民館での健康づくり事業や講座の開催 【実施計画】 各公民館において健康づくり事業や講座を開催する。	高齢者のデジタルデバインド解消のためのスマートフォン体験講座を開催するとともに、各公民館において高齢者向けの体操教室など様々な自主事業を実施した。 市内11公民館の自主事業：434件 39,401人（R5：408件 36,747人）							評価	B おおむね推進できた	公民館自主事業は、講師の担い手、内容、周知方法等の充実が課題となっている。令和7年度は引き続き、高齢者向けスマートフォン体験講座など市民ニーズを意識した講座をはじめ、地域コミュニティの活動拠点としての公民館事業の充実に努め、更なる参加者の増加を見込んでいきたい。																														
	理由	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">公民館自主事業の参加者数（人）</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>57,500</td> <td>41,000</td> <td>42,700</td> <td>44,300</td> <td>46,000</td> <td>47,600</td> <td>49,200</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>39,401</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							公民館自主事業の参加者数（人）								年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	57,500	41,000	42,700	44,300	46,000	47,600	49,200	実績値	39,401							目標値には至らなかったものの、昨年度と比較して事業数、参加者数ともに増加したためB評価とした。
公民館自主事業の参加者数（人）																																									
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																																		
目標値	57,500	41,000	42,700	44,300	46,000	47,600	49,200																																		
実績値	39,401																																								
道路整備課	安全で快適な道路づくり 【事業概要（事業名）】 道路利用者の安全安心と快適性を確保し、道路交通を円滑にする。 ・安全で快適な道路づくり 【実施計画】 安全で快適な歩行空間を確保するため、歩道を整備する。	一般市道への歩道整備を行い、安全で快適な歩行空間を創出した。 令和6年度実績 ・路線数 8路線 ・延長 159m							評価	A 目標を達成した	歩道を整備するためには沿道地権者の用地協力が必要となるが、交渉が難航している箇所もあるため、引き続き交渉を行い、現在実施している事業の完成を目指し、事業に取り組んでいく。																														
	理由	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">歩道整備延長（m）</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>140</td> <td>100</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>140</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>159</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							歩道整備延長（m）								年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	140	100	140	140	140	140	140	実績値	159							沿道地権者の事業への用地協力などが得られたことから、歩道の整備工事を実施することができた。
歩道整備延長（m）																																									
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																																		
目標値	140	100	140	140	140	140	140																																		
実績値	159																																								

事業概要（事業名）・実施計画（Plan）		R6年度実績（Do）								自己評価（Check）		課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）	
健康づくり課	身体活動・運動の普及啓発 【事業概要（事業名）】 運動に取組むきっかけづくりや、運動の継続につながるツール等を活用した普及啓発 ・ウォーキングマップの配布 ・情報が受け取れる場の提供（未病センター） ・さわやか体操CD・DVD等の配布 ・市内体操会の周知 【実施計画】 市民が運動に取り組みやすいよう、媒体の工夫をしながら、各イベントや講座等において積極的な情報提供を行う。	・未病センター健康測定会・セミナーの実施：10回219人（内訳：測定会7回173人、セミナー3回46人）								評価 A 目標を達成した 理由	【課題】 健康測定会の参加者はほとんどが高年齢者であり、疾病予防につながる若年層の参加が少ない。多忙な働く世代や子育て世代が多い若年層が、自分の都合の良いタイミングで健康づくりに取り組むことができるような啓発を行う必要がある。 【計画】 健康測定会の対象年齢の見直し。ウォーキングマップの活用方法の見直し（情報看板の設置及び運動した紙マップの配布）		
	一般介護予防（運動） 【事業概要（事業名）】 身体を動かし、心身機能の低下を予防するため、運動に関する講座や相談を実施。 ・フレイル予防で健康長寿（シニア元気度測定会）、姿勢改善で痛み予防、うぐいす体操会、広畑エンジョイカレッジ、さわやか体操を実施する通いの場等 【実施計画】 フレイル予防の視点を入れ、運動を中心に、口腔・栄養・認知症予防を含む講座を実施する。	・フレイル予防で健康長寿 3回 31人 ・姿勢改善で痛み予防 14回 213人 ・うぐいす体操会 69回 889人 ・広畑エンジョイカレッジ 61回 862人 ・さわやか体操を実施する通いの場の数 32団体								評価 A 目標を達成した 理由	個人に合った効果的な運動を取り入れることができるよう、運動講座を提供する。また、住み慣れた地域で体を動かせる通いの場の拡充を目指す。		
高齢介護課	地域資源を活用した身体活動の推進 【事業概要（事業名）】 本市の有する豊かな森林、里地里山等、自然の地形や恵みを総合的に活用し、市民の生活習慣病予防及び健康増進に役立て、都市と森林の地域交流を推進し、新たな森林、観光、医療の連携を通じた地域振興を図ることを目的とする。 ・森林セラピー体験事業 【実施計画】 ・一般市民向けの森林セラピー体験事業を、市内の里山において実施する ・森林セラピーロードでの環境整備、管理運営体制の整備、森林セラピー事業の展開、人材育成 ・企業団体等の福利厚生や環境教育学習等への活用を図る	一般向けに森林セラピー体験事業を市内の里山において実施した。								評価 A 目標を達成した 理由	地域の環境を生かした健康づくりや生きがいの場が創出されるとともに、都市住民や企業等の観光、心と身体の健康づくりの場としての利用が進み、交流人口や関係人口等の増加が図られることが求められる。		
	3033運動の推進 【事業概要（事業名）】 1日30分、週3回、3か月継続してスポーツを実施するため、イベント等において普及啓発を実施。 【実施計画】 年間を通じて普及活動をしていく。	スポーツ推進委員の委員会や研修会でチラシを配布するとともに各スポーツ施設への階段や壁に常時ポスター掲示することで普及啓発を図った。 また、スポーツの日「令和6年度体力・運動能力調査」を実施した。体力・運動能力調査参加者88人、スポーツ推進委員研修会等参加者197人								評価 A 目標を達成した 理由	令和7年度も引き続きスポーツ推進委員の会議やイベント等で3033運動の啓発周知をしていく。令和7年11月1日に開催が予定されているやまなみ連携事業の一環であるウォーキング事業では多くの参加者が見込まれるため、この場を活用して広く普及に努める。		
スポーツ推進課	スポーツ教室・イベントの実施 【事業概要（事業名）】 市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する参加意欲を高めるため、気軽に参加できる各種スポーツ教室や参加型イベントを実施。 【実施計画】 年間を通じて各種研修会や教室を開催する。 ・スポーツ教室（市スポーツ協会による実施） ・はだの丹沢水無川マラソン ・ふれあいスポーツデー ・ポールウォーキング教室	毎月第1土曜日に「ふれあいスポーツデー」を実施したほか、令和6年12月1日（日）に第20回はだの丹沢水無川マラソン大会を開催した。 ふれあいスポーツデー参加者2,562人、水無川マラソン大会ランニングレッスン参加者46人、はだの丹沢水無川マラソン大会参加者1,802人、・ポールウォーキング教室参加者155人								評価 A 目標を達成した 理由	健康づくりは、市民一人ひとりが努力するだけでなく、家庭や団体、行政等がそれぞれの役割を担い、それを果たしながら、有機的に機能させていくことが必要である。 本計画の基本理念の実現に向けて、計画を包括的かつ効果的に推進していくためには、多様な主体による取組や交流・連携を図りながら、秦野市全体で一体的に、協働して取り組んでいく。		
	スポーツ推進課	指標 ふれあいスポーツデー及びはだの水無川マラソンへの参加者数（人） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 実績値 4,565								毎月第1土曜日に秦野市スポーツ協会と協働で無料スポーツ体験イベント「ふれあいスポーツデー」を実施。スポーツに親しむ人口のすそ野を広げ、日常生活に取り組みやすいよう導いた。 はだの丹沢水無川マラソンについても熱心なマラソンランナー加者総勢1,802名の参加を得て盛大に開催出来た。			

健康増進計画（健康はだの21）第5期 進行管理シート

1 基本情報

基本の方向性	No. II	健康維持向上のための生活習慣の改善と個人の行動変容（疾病予防と健康増進）
取組分野	No. 3	こころの健康・休養
重点目標	適切な睡眠時間の確保と睡眠の質の改善により、こころと体の健康づくりができる人を増やす。	
主な取組	「悩んだら 言葉にして 相談しよう」 「ぐっすり眠って スッキリ目覚める」	

2 評価指標

項目	睡眠で休養がとれていると感じる人の割合									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	78.0%	74.2%	74.9%							
項目	ストレスに対処できる人の割合									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	70.0%	66.0%	79.1%							
項目	ゲートキーパーの人数									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	3,000人	1,714人	2,294人							

委員会総合評価	理由

3 事業計画と評価等

事業概要（事業名）・実施計画（Plan）		R6年度実績（Do）								自己評価（Check）		課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）	
健康づくり課	こころの健康対策の推進 【事業概要（事業名）】 相談窓口の周知や身近に相談できる人を増やす等、こころの健康づくりをサポートする体制を充実させる。 ・市内公立中学校へのこころのリーフレットの配布 ・職域等での相談窓口の情報提供 ・ゲートキーパー養成講座（再掲） ・「こころの体温計」の運用 【実施計画】 各世代に応じて周知方法を変えながら、こころの健康づくりに関する情報提供を行う。	自殺予防週間及び自殺対策強化月間におけるSNSを活用した情報発信、横断幕の掲示実施回数 年2回 3月の自殺対策強化月間には、本庁舎1階の出入口に特設ブースを設置し、カード型チラシと合わせた啓発グッズの配布やポスターの掲示を行った。								評価 A 目標を達成した 理由 ・学校の長期休み明けに合わせて、市内の中高生にカードサイズの啓発チラシを配付したことで「こころの体温計」へのアクセス数が増えた。 ・図書館での啓発を年1回から年2回に増やし、より身近な場所で啓発を推進した。	【課題】 ・市役所や公共機関に出向く機会のない人への啓発 ・自殺割合の多い壮年期への啓発 【計画】 啓発活動の実施を継続。また、駅頭キャンペーン（秦野センターと共同）を実施予定。		
	睡眠と休養の重要性の啓発 【事業概要（事業名）】 多くの若い世代に「睡眠・休養」に関心を持ってもらうため、出張講座を実施。 ・幼小中保護者向け出張講座（こころの健康） 【実施計画】 幼小中保護者向け出張講座では、ヨガや睡眠とゲートキーパー養成講座を合わせて実施する。	・講座の依頼は4件あり、依頼件数は増加傾向。育児や就労、介護など様々な役割を担う保護者は自身の健康管理をまず大切に、加えて、子どもや家族のこころの健康状況にも気にかけてもらうよう啓発した。また、保護者のセルフケアにつなげるため、ヨガ講座のほか、実践的な睡眠講座を開催した。アンケート結果から睡眠の悩みを抱える保護者が一定数いることが分かった。								評価 A 目標を達成した 理由 保護者等の青壮年期に対し、講座を開催することができた。	【課題】 教職員の都合で午後3時頃からの開催依頼が多いこと。保護者の参加につながるよう、学校側の協力をお願いする。また、参加者のアンケートでは、睡眠の悩みを抱える者が一定数おり、睡眠に関する情報を様々な機会を活用して啓発する必要がある。 【計画】 保護者向け講座は、青壮年期に啓発できる貴重な機会であり、今後も継続する。		
健康づくり課	自殺予防対策の推進 【事業概要（事業名）】 地域の自殺の実態を把握し、実情に合った自殺予防対策を推進する。 ・自殺対策計画の策定及び推進 【実施計画】 自殺対策に関する庁内連絡会議や秦野市自殺対策推進委員会を各1回/年を開催（出席）して、課題共有や対策の情報共有を行う。	庁内連絡会議では、本市の自殺者の現状把握とその対策の円滑な推進を図るとともに、庁内における課題共有や対策の情報共有を行った（委員は庁内13課で構成、全課出席）。また、外部委員で構成される自殺対策推進委員会では、計画の進捗状況について評価を実施し、各団体からの情報提供を踏まえつつ協議を行った。県主催の職域連携部会は欠席したため、後日資料を共有してもらい他市町の情報収集を行った。								評価 A 目標を達成した 理由 庁内連携会議及び外部委員で構成される自殺対策推進委員会では本市の自殺対策について検討することができたため。	【課題】 自殺対策推進委員会において、働く世代へのメンタルヘルス対策について推進するよう指摘があったことを受けて、庁内関係各課のほか、職域関係機関と連携をとり、支援体制を構築することが求められる。 【次年度実施計画】 各会議体の開催を継続（自殺対策に関する庁内連絡会議・秦野市自殺対策推進委員会）。職域連携部会へ出席。職域連携によるメンタルヘルス対策の推進。		
		指標 自殺対策推進委員会委員出席率（％） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 100 100 100 100 100 100 100 実績値 91.3											

事業概要（事業名）・実施計画（Plan）		R6年度実績（Do）							自己評価（Check）		課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）
16歳も家庭支援課	妊産婦のこころのケア対策 【事業概要（事業名）】 安心して出産・子育てができ、妊産婦及び乳幼児の健康を守るため、妊娠期からの切れ目ない支援を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時面接 ・妊産婦新生児訪問事業 ・乳幼児健康診査での相談 【実施計画】 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時に妊婦や家族の健康状態を確認 ・おめでた家族教室時に産後のメンタルヘルスに関する講義を実施 ・産婦健康診査時及び、新生児訪問時に必要に応じてエジンバラ産後うつ病質問票の実施 ・乳幼児健康診査時やその他の育児相談 	・母子保健コーディネーターを中心に、全妊婦及び同席者を対象とした面接により母子健康手帳交付。同時に状況に応じた助言・支援を実施。また継続支援が必要な場合は電話等での継続支援を実施。妊娠届出数717件（転入者含む） ・母親の育児不安を軽減し、安心して子育てができるよう新生児家庭訪問を実施。里帰りした産婦も、自身体間で連携をとり対応。状況によりエジンバラ産後うつ病質問票を実施し、高値の産婦には、産後ケア事業実施につなげ、さらに切れ目ない支援に努めた。妊産婦新生児家庭訪問実施率 97.8%							評価	A 目標を達成した	・出産前後のメンタルヘルスの重要性について周知し、産後ケア事業の利用促進に繋げていく必要がある。 ・こども家庭センター内での母子保健の役割で切れ目ない支援の充実を図り、児童福祉部門と連携強化や体制づくりに努める。 ・産後ケア事業の幅広い周知及び利用促進につながるよう訪問時の丁寧な説明や電子申請における利用申込を導入する。
	理由	・妊娠届出時から乳幼児の子育て時期において、子育て家庭のこころの健康を守るため、各時期における面談や相談を実施した。 ・新生児家庭訪問事業は、未熟児など長期入院で全数訪問は困難であるが、必要な対象者を把握し、電話や面接を行い産婦の不安解消に対応できたため、A評価とした。									
高齢介護課	介護者への支援 【事業概要（事業名）】 家族の身体的・精神的負担の軽減を図るため、講座の開催や相談体制を整備する。 <ul style="list-style-type: none"> ・介護者からの電話相談窓口 ・介護者セミナー ・介護者のつどい 【実施計画】 関係機関と連携しながら、介護に関する情報だけでなく、介護者の生活の質が高まるよう情報提供や相談支援を行う。	・介護者ほっとラインの開設：毎週火曜日 ・介護者セミナーの開催：2日間（「納得のいく人生」を支える認知症ケア）、「老人ホームの最新事情」延べ45名 ・介護者のつどい：29回（オレンジカフェでの開催も含む）							評価	A 目標を達成した	引き続き、地域団体とのにおける既存の資源の効果的な活用・連携を図りながら地域住民への支援をより適切に行う体制の整備を図る。
	理由	予定通り、講座の開催や相談、つどいの場の設置ができ、家族の身体的・精神的負担の軽減につながる情報提供や相談支援ができた。									
教育指導課	児童・生徒への支援 【事業概要（事業名）】 いじめや不登校など学校生活の問題で悩んでいる児童生徒やその保護者に対して、専門的対応につなぐ相談支援を行う。 【実施計画】 スクールカウンセラーによる相談体制の充実。いじめ対策等巡回教育相談事業。	こころの問題に関して専門的知識を有する臨床心理士等を「スクールカウンセラー」として、小中学校に配置した。スクールカウンセラー設置：小学校13校、中学校9校、相談：延3,626件 臨床心理士、学校心理士によるいじめ問題を中心とした具体的な対応の援助を行った。小学校8校、中学校5校、合計41回（140時間）							評価	C 推進できたが努力が必要	引き続き学校から児童生徒及びその保護者に対して積極的に悩み等を認知し、校内教育相談コーディネーターを中心に、必要な支援に繋げていく。
	理由	いじめや不登校など、学校生活の問題で悩んでいる児童生徒やその保護者について、臨床心理士等との面談を通して相談期間に繋がった例がある一方で、近年の不登校児童生徒数の増加等の影響により、相談機関に繋ぐことができていない例も散見されるため。									
産業振興課	企業向けメンタルヘルス対策 【事業概要（事業名）】 労使関係者が、労働問題及び社会経済情勢に関する広い視野を養い、合理的で客観的な認識力と判断力を培って、労働問題の自主的解決能力の向上を図るとともに、労働問題に関する正しい知識と理解を啓発し、労働者の生活全般にわたる安定と向上を図ることを目的とする。 【実施計画】 県と共催で2講座／年	①令和7年2月3日（月）「知っておきたい生涯現役社会の働き方」参加者13人 ②令和7年2月5日（水）「女性が光り輝き活躍できる職場づくり」参加者5人 両日とも18:00～20:00で実施							評価	C 推進できたが努力が必要	参加者の確保が課題となっているため、実施日時の調整を行い、より参加しやすい時間帯の把握に努める。
	理由	県との共催で行っているが、コロナ禍以降、年3回の講座が2回になり参加者が減少している。									

健康増進計画（健康はだの21）第5期 進行管理シート

1 基本情報

基本の方向性	No. II	健康維持向上のための生活習慣の改善と個人の行動変容（疾病予防と健康増進）
取組分野	No. 4	たばこ・お酒
重点目標	たばこやお酒に関する正しい知識を持つ人を増やす。	
主な取組	「知ろう！ たばことお酒の本当のこと」	

2 評価指標

項目	非喫煙者の割合									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	男性	83.0%	80.3%	81.2%						
	女性	97.0%	94.5%	94.9%						
項目	妊娠中の非喫煙者の割合									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	100.0%	97.9%	97.8%							
項目	20～64歳男性の1日飲酒量2合未満の割合									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	79.0%	75.4%	79.3%							
項目	20～64歳女性の1日飲酒量1合未満の割合									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	67.0%	63.4%	78.3%							

委員会総合評価	理由

3 事業計画と評価等

事業概要（事業名）・実施計画（Plan）	R6年度実績（Do）	自己評価（Check）	課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）
健康づくり課・国保年金課 健康教育・健康相談（依存） 【事業概要（事業名）】 喫煙の害やその他依存に関することについての普及啓発を行う。・市内小中学校での喫煙防止教育（依存に関することを含む） ・幼小中保護者向け出張講座（たばこ、お酒、依存症に関すること） ・適正飲酒及び受動喫煙防止の普及啓発 【実施計画】 小中学校における、たばこの害や喫煙防止に関する講演会の実施	保護者向け出張講座において、たばこの関心が薄いため、たばこのほかお酒やゲームなどの依存症を含めた講座を開催した。 ・市内小中学校での喫煙防止教育：6校562人 ・保護者向け出張講座：2回37人 指標 アンケートで「喫煙したいと思わない」割合（％） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 100 100 100 100 100 100 100 実績値 98	評価 A 目標を達成した 理由 具体的な数値やアニメ教材（DVD）を取り入れることで理解を深めやすい内容に工夫し、たばこの害について理解度を高めることができた。また、講座の主体は喫煙防止だが、スマホやゲームなど他の依存症についても話題に盛り込むなど、生徒や児童が自分事として考えられるように内容を工夫して理解の促進に努めることができたため、A評価とした。	【課題】 加熱式タバコや電子タバコを含めた喫煙防止教育の在り方 【計画】 若い世代から喫煙することのリスクを伝えることにより、将来に喫煙する人の減少を目指す。今後も実施校を増やしていくとともに、市内の小中学校での喫煙防止教育の実施状況の把握に務めていく。
国保年金課 禁煙及び適正飲酒支援 【事業概要（事業名）】 禁煙に関心がある人が禁煙できるよう、個別相談支援を行う。 ・特定健康診査及び特定保健指導 【実施計画】 H30～	・特定保健指導の参加者で喫煙者は10人。すべての喫煙者に喫煙と生活習慣病のリスク等の情報提供を行った。禁煙ができたのは2人だが、3人の本数減の行動変容があった。 指標 特定保健指導で行動変容（禁煙・本数減）した割合（％） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 実績値 50.0%	評価 C 推進できたが努力が必要 理由 電子たばこが出現し、喫煙状況も変化してきている。最新情報を取り入れながら、禁煙につながる支援のスキルアップ及び医療機関での治療についても周知し、正しい情報とともに禁煙支援の拡充を図る。	特定保健指導で行動変容（禁煙・本数減）をすることが出来るように、最新資料の配布や喫煙につながるリスクを周知し、改善につなげる。
こども家庭支援課 周産期からの禁煙支援 【事業概要（事業名）】 ・妊娠届出時、おめでた家族教室 【実施計画】 ・妊娠届出時、おめでた家族教室を通して妊婦の喫煙が胎児に及ぼす影響について周知する。 ・乳幼児健康診査時、喫煙の害が子どもに及ぼす影響について対策等助言、禁煙外来等の情報提供を行う。 ・窓口や健診診室での喫煙防止のポスター、リーフレットの配架の実施	・4か月児・1歳6か月児健診・3歳6か月児健診において、問診で喫煙状況について確認。喫煙者には、禁煙のリーフレットを使用しながら禁煙の重要性について説明した。 ・おめでた家族教室では参加者に、テキスト「ようこそ赤ちゃん」を活用し喫煙防止の説明を行った。（令和6年度 おめでた家族教室参加者数：延べ408人） 指標 3歳6か月児健診時の父母の非喫煙率（％） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 父70 母95 父70 母95 父70 母95 父70 母95 父70 母95 父70 母95 実績値 父71.8 母93.0	評価 B おおむね推進できた 理由 ・窓口に禁煙ポスターの設置及び健診診室や窓口に禁煙外来のチラシを設置。健診時に喫煙者にチラシを配布 ・妊娠届出時、アンケートに喫煙していると回答した対象者には新生児訪問でパンフレットを活用し禁煙支援を実施 ・3歳6か月児健診時の父母の非喫煙率は、目標値は達成していないものの令和5年度に比べ上がっている（R5父70.5%、母92.4%）ため、B評価とした。	・出産後、子どもの年齢が上がるにつれて、禁煙意識が低下する傾向がある。たばこに関する知識の違いや育児ストレスなどが原因であることが考えられる。 ・引き続き妊娠～新生児訪問～乳幼児健診と継続して繰り返し、喫煙の正しい知識の周知を行う。 ・社会資源の紹介等行い育児ストレスが軽減できるよう支援をする。

健康増進計画（健康はだの21）第5期 進行管理シート

1 基本情報

基本の方向性	No. II	健康維持向上のための生活習慣の改善と個人の行動変容（疾病予防と健康増進）
取組分野	No. 5	歯・口腔
重点目標	いくつになっても自分の歯でおいしく食べられる人を増やす。	
主な取組	「歯磨きは 優しく細かく 丁寧に」 「定期的に 歯科検診を 受けに行こう」	

2 評価指標

項目	3歳6か月児でむし歯がある幼児のうち重症の割合									
年度	目標値 (R12)	策定時 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	15.0%	22.5%	23.9%							
項目	年に1度以上、歯科検診を受けている人の割合									
年度	目標値 (R12)	策定時 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	52.0%	48.9%	33.9%							
項目	歯間清掃具を使用して口腔内のセルフケアをしている人の割合									
年度	目標値 (R12)	策定時 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	35.0%	31.9%	54.1%							
項目	80歳で20本以上自分の歯を有する人の割合									
年度	目標値 (R12)	策定時 (R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	36.0%	32.6%	38.1%							

委員会総合評価	理由

3 事業計画と評価等

	事業概要（事業名）・実施計画（Plan）	R6年度実績（Do）	自己評価（Check）	課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）
健康づくり課	歯周病の早期発見・早期治療 【事業概要（事業名）】 歯周病の早期発見・早期治療につなげるため、20・30・40・50・60・70歳の市民に対し実施。 ・歯周病検診 【実施計画】 20・30・40・50・60・70歳での検診を秦野伊勢原歯科医師会に委託し実施	歯周疾患による口腔機能低下を予防するために、対象年齢へ受診券を送付し、歯周病検診を実施。新型コロナウイルスの受診控えによる低下した受診率を向上させるために、未受診者へ受診勧奨はがきを送付し、受診率の向上がみられた。 11月8日（いい歯の日）に市公式SNSで検診の案内を配信した。	評価 A 目標を達成した 理由 はがきでの個別通知のほか、市公式SNSを活用して受診勧奨を行い、受診率の向上に努めることができた。	【課題】 若年層や働く世代の受診率が低い傾向にある。 【計画】 青壮年期の受診率の向上を図るため、受診勧奨の工夫をしていく。
	歯科保健の普及啓発 【事業概要（事業名）】 歯と口腔への関心を高め、歯科保健に係る普及啓発を行う。 ・口腔ケア講演会（歯と口の健康週間事業） ・口腔がん検診 ・保護者向け出張講座（歯科） 【実施計画】 歯と口の口腔ケア講演会と口腔がん検診の実施	・歯と口の口腔ケア講演会を秦野伊勢原歯科医師会と共催で開催 1回99人 ・口腔がん検診の実施 受診者35人	評価 A 目標を達成した 理由 口腔ケア講演会には、99人の参加があり、広く啓発することができた。	【課題】 歯科疾患に対して関心が薄い。 【計画】 引き続き事業を実施していくとともに、広報等周知の強化をしていく。
こども家庭支援課	母子歯科保健事業 【事業概要（事業名）】 妊婦及び乳幼児の口腔衛生の向上を図り、むし歯予防を推進する。 ・妊婦歯科健康診査 ・乳幼児健診における歯科健診及び歯科相談 ・幼児食と歯のセミナー ・離乳食セミナー（ステップアップ編） 【実施計画】 ・妊婦歯科健診の受診勧奨を行う。 ・乳幼児健診、食育セミナーで歯科衛生士による集団と個別での歯科相談を行う。	・妊婦歯科健診：秦野伊勢原歯科医師会に委託し、妊娠中1回の歯科健康診査費用の補助を実施。受診数182人（受診率：27.5%） ・幼児食と歯のセミナー：実施回数8回 参加人数：79人 ・離乳食セミナー（ステップアップ編）：実施回数5回 参加人数：93人	評価 A 目標を達成した 理由 ・母子健康手帳交付時、妊婦歯科健康診査受診の必要性を説明し、受診勧奨に努めた。・食育セミナーの集団指導と健診の個別歯科相談を行い、むし歯発生予防や母乳、ミルク、食事、おやつ等の食生活、仕上げ磨き、噛む大切さを伝えた。・3歳6か月児健診時の虫歯がない幼児の割合は増加、（令和5年度 91.9%）目標値に達成出来たため、A評価とした。	・妊婦歯科健康診査の受診率向上のためにおめでた家族教室内でも周知を図る。 ・引き続き、食育セミナーや乳幼児健診で、乳幼児期の口腔の保持増進に努める。

健康増進計画（健康はだの21）第5期 進行管理シート

1 基本情報

基本の方向性	No. II	健康維持向上のための生活習慣の改善と個人の行動変容（疾病予防と健康増進）
取組分野	No. 6	感染症予防
重点目標	感染症に関する正しい知識をもつ人を増やす。	
主な取組	「手洗い 換気 感染予防の第一歩」	

2 評価指標

項目	小児の麻疹・風しん（混合・単独）（一期）予防接種率									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	100.0%	88.0%	86.3%							
項目	高齢者インフルエンザ予防接種の接種率									
年度	目標値(R12)	策定時(R4)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
数値	55.0%	52.0%	45.9%							

委員会総合評価	理由

3 事業計画と評価等

事業概要（事業名）・実施計画（Plan）		R6年度実績（Do）								自己評価（Check）		課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）	
健康づくり課	一般向け予防接種 【事業概要（事業名）】 感染症についての正しい知識を普及啓発するとともに、各種予防接種事業を実施。 ・感染症等についての正しい知識の普及啓発事業 ・65歳以上の季節性インフルエンザ予防接種事業 ・高齢者用肺炎球菌予防接種事業 【実施計画】 感染症全般の流行状況を把握し迅速な情報提供を行う。 重症化しやすい高齢者等を対象とした定期接種の実施。	医師会や県等関係機関と連携して感染症全般の流行状況を把握し、ホームページへの適切な情報掲載や市民からの問合せ対応など感染症対策に関する情報提供を実施した。感染症の予防及び重症化を目的に、65歳以上を対象に予防接種費用の一部補助を実施した（季節性インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌、新型コロナウイルス感染症）。								評価	A	目標を達成した	
		指標 高齢者インフルエンザ予防接種の接種率 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 50.0% 実績値 45.9%								理由	市民の利便性を考慮し、秦野伊勢原・平塚・足柄上の医師会や個別医療機関と契約。また、費用免除書類の申請について新たに電子申請による対応を追加し、高齢者による手続きの負担減を図った。例年並みの接種状況で概ね目標値を達成できた。		【課題】 新型コロナウイルス感染拡大の経験を踏まえ、平時から感染対策の推進や備えに取組む必要がある。また、一般に帯状疱疹は70歳代発症者が最も多いため予防的な対策検討が必要。 【計画】 令和7年度から65歳等へ帯状疱疹ワクチンが予防接種法に基づく定期接種の対象となり、本市でも新たに開始して、市民に正しい知識や適切な情報提供に努める。
子ども家庭支援課	乳幼児から20歳未満の予防接種 【事業概要（事業名）】 乳幼児がかかりやすい感染症についての正しい知識を普及啓発するとともに、各種予防接種事業を実施。 ・乳幼児やその保護者への感染症予防に関する普及啓発事業 ・乳幼児から20歳未満の定期予防接種事業 【実施計画】 ・1歳以降に行う定期接種（麻疹・風しん及び水痘その他）は、接種率が低下する傾向があるため、1歳6か月児健康診査の案内時に接種勧奨チラシを同封し、接種率の向上に努める。 ・出生届出の際に、定期接種に関する情報冊子「予防接種と子どもの健康」を提供するとともに、出生後2か月時に接種するワクチンの予診票を同封し、啓発に努める。	・新生児訪問、乳幼児健診における問診や各医療機関における接種勧奨により、毎年度における接種率は9割程度の高水準である。 ・麻疹・風しん（混合・単独）1期 対象者数：739人、接種者数：638人 接種率：86.3%								評価	B	おおむね推進できた	
		指標 麻疹・風しん（混合・単独）（一期）予防接種率（%） 年度 R6 R7 R8 R9 R10 R11 R12 目標値 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 実績値 86.3%								理由	・麻疹・風しん（混合・単独）1期予防接種率は増加している。（令和5年度接種率 85.2%） ・一部の製薬会社において麻疹・風しんワクチンを出荷停止した影響で、接種を希望したものの接種できなかった者がいると思われるため、B評価とした。		・引き続き、出生届出の際に、定期接種に関する情報冊子「予防接種と子どもの健康」を提供するとともに、出生後2か月時に接種するワクチンの予診票を同封する。 ・引き続き、1歳以降に行う定期接種（麻疹・風しん及び水痘その他）の接種勧奨チラシを、1歳6か月児健康診査の案内時に同封する。 ・麻疹・風しんワクチンの予防接種は、令和6年度に定期接種の対象となった児に限り、定期接種の期間を延長することで、接種率の向上を図る。

事業概要（事業名）・実施計画（Plan）		R6年度実績（Do）							自己評価（Check）		課題（Action）・R7年度実施計画（Plan）																							
健康づくり課・国保年金課	生活習慣病の予防・改善 【事業概要（事業名）】 生活習慣病の予防及び重症化予防のため、望ましい生活習慣への動機づけを図る。 ・巡回型健康測定事業（健康バス事業） ・病態別（糖尿病・高血圧・脂質異常症）栄養講座 ・メタボリックシンドローム予防・改善のための栄養講座 ・ゲッバイ内臓脂肪からだづくり応援講座 ・日常生活動作を増やすための講座 【実施計画】 各種健康測定や健診結果から健康状態を見える化し、自身に合った生活習慣の改善を目指す。	自身の健康状態を踏まえ、主に食事や身体活動の観点から生活習慣の改善につながるよう支援した。また、必要に応じた個別相談により、さらなる意識付けや動機付けを図った。 ・血管イキイキ食活のすすめ（病態別）：全6回、延53名 ・血管イキイキ食活のすすめ（メタボ予防） 上記講座の特定保健指導対象者参加率：35.3% 上記講座のHbA1c5.6%以上の者の生活習慣改善講座参加率（国保）：51%							評価 理由	A 目標を達成した	【課題】 青壮年期の参加が少ないことが課題である。 【計画】 巡回型健康測定事業（健康バス事業）は、より市民に内容が分かりやすいように名称を出張未病健康測定会に変更し実施する。また、青壮年期の参加者数増加を目的に、対象の年齢を18歳～69歳とする。																							
	巡回型健康測定事業参加者数（人） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	150	150	150	150	150	150	150	実績値	200									
	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																										
目標値	150	150	150	150	150	150	150																											
実績値	200																																	
高齢者の介護予防事業と保健事業の一体的実施 【事業概要（事業名）】 これまで別々に実施されてきた医療保険者による保険事業と介護予防事業を、フレイル予防や健康寿命の延伸を目指すため、それらを切れ目なく実施していく取り組み。 【実施計画】 ・糖尿病性腎症重症化予防事業（保健指導、受診勧奨） ・低栄養防止支援事業（栄養・口腔指導） ・通いの場等における低栄養防止支援事業（健康教育・健康相談、高齢者質問票を用いたフレイル状態の把握と支援）		・糖尿病性腎症重症化予防事業（保健指導、受診勧奨） 令和6年度：後期高齢者対象者42人、うち参加者4名 ・低栄養防止支援事業（栄養・口腔指導） 令和6年度から低栄養に加え、口腔への支援を開始。 ・通いの場等における低栄養防止支援事業（健康教育・健康相談、高齢者質問票を用いたフレイル状態の把握と支援）							評価 理由	B おおむね推進できた	【課題】 定員を15名としているが、実施者数に満たしていない。 【計画】 1人でも多くの方に保健指導に参加していただき、糖尿病性腎症重症化予防につなげていけるよう、通知内容や電話勧奨の内容を検討していく。																							
高齢介護課	指標 低栄養防止支援事業（栄養）個別設定目標の達成状況（%） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>70.0%</td> <td>75.0%</td> <td>80.0%</td> <td>85.0%</td> <td>85.0%</td> <td>85.0%</td> <td>85.0%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>69.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	実績値	69.7%									
	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																										
	目標値	70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%																										
実績値	69.7%																																	
特定健診の普及啓発 【事業概要（事業名）】 特定健康診査受診率向上のため、未受診者勧奨や健診受診の必要性について啓発する。 ・特定健康診査未受診者勧奨 【実施計画】 H30年度～		・特定健診未受診者25,996名（計2回）に受診勧奨はがきを送付。そのうち1,567名へ電話勧奨を実施した。 ・平日に特定健診を医療機関へ受診できない若い世代や特定健康診査を今まで受診したことがない者を中心に集団健診の参加勧奨を実施し、2月と3月に計3回、計271名に集団健診を実施した。							評価 理由	A 目標を達成した	【課題・計画】 最終目標である受診率40%を目的とし、未受診勧奨や集団健診は継続し、その他にも広報やイベント等を活用し、対象者に広く周知していきたい。																							
国保年金課	指標 特定健康診査受診率（%） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>35.0%</td> <td>36.0%</td> <td>37.0%</td> <td>38.0%</td> <td>39.0%</td> <td>40.0%</td> <td>40.0%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	35.0%	36.0%	37.0%	38.0%	39.0%	40.0%	40.0%	実績値										
	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																										
	目標値	35.0%	36.0%	37.0%	38.0%	39.0%	40.0%	40.0%																										
実績値																																		
生活習慣病の重症化予防 【事業概要（事業名）】 生活習慣を改善する人を増やすため、医療機関への受診を促したり、かかりつけ医における生活習慣改善を目指すプログラムを実施。 ・HbA1c6.5%以上の未受診者に対する受診勧奨 ・かかりつけ医と連携した生活習慣改善プログラム 【実施計画】 H30年度～		HbA1c6.5%以上の未受診者に対する受診勧奨については、電話勧奨を行い、つながらなかった者については通知勧奨を実施している。対象者は67人のうち、33人は既に医療機関に受診済み、残り34人中11人が受診につながった。 前年度同様、電話がつかない場合等は文書による受診勧奨と糖尿病重症化予防のための資料を併せて送付した。							評価 理由	A 目標を達成した	【課題・計画】 生活習慣病重症化予防のため、引き続き電話によるフォローアップと電話不通の場合の文書及び資料送付を行う。電話かけし、受診勧奨をすると指導や相談は不要と言われることもあるが、継続して勧奨を行い重症化を予防していきたい。																							
国保年金課	指標 受診者数の割合（%） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>30.0%</td> <td>31.0%</td> <td>32.0%</td> <td>33.0%</td> <td>34.0%</td> <td>35.0%</td> <td>36.0%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>32.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	30.0%	31.0%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%	36.0%	実績値	32.4%									
	年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																										
	目標値	30.0%	31.0%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%	36.0%																										
実績値	32.4%																																	
糖尿病の重症化予防 【事業概要（事業名）】 ・糖尿病性腎症重症化予防事業 【実施計画】 H30年度～		前年度の特定健康診査、後期高齢者健康診査および人間ドック受診者で、一定の基準該当者であり、糖尿病で医療機関へ通院中で、かかりつけ医の同意が得られた者を対象に委託業者から6ヶ月の保健指導を実施している。令和6年度は国保対象者60人、うち参加者6人。後期対象者42人、うち参加者4名。							評価 理由	B おおむね推進できた	【課題】 定員を国保、後期ともに15人としているが、実施者数が満たしていない。 【計画】 1人でも多くの方に保健指導に参加していただき、糖尿病性腎症重症化予防につなげていくため、通知内容や電話勧奨の内容を検討していく。																							
指標 対象者の指導実施率（%） <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> <td>10.0%</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>9.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	目標値	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	実績値	9.8%										
年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																											
目標値	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%																											
実績値	9.8%																																	